

「価値観共有する人と働きたい」

喫煙者



入社お断り

採用情報

岐阜セラック製造所の採用情報をご覧になる前に

あなたはタバコを吸いますか？

YES NO

①喫煙習慣の有無を尋ねる岐阜セラック製造所のHPの採用ページ
②禁煙者を採用する狙いを語る尾木大社長＝岐阜市の岐阜セラック製造所職工場



岐阜セラック 代表取締役社長 尾木大

「たばこを吸う人は採用しない」と宣言している会社がある。岐阜市の天然樹脂・化学品メーカー「岐阜セラック製造所」だ。七十五年前、病弱だった創業者が社員健康を気遣い、禁煙を呼び掛けたのがきっかけ。今春の新卒採用が始まるのを前に、孫で現社長の尾木大さん（四七）は「健康へのこだわりは会社のDNA。価値観を共有できる人に出会いたい」と願いを込める。

（池内琢、写真も）

岐阜健康経営75年



岐阜セラック製造所 天然樹脂セラックを製造する国内3社の1社。セラックとは東南アジアやインドなどに生息する昆虫「ラックカイガラムシ」の分泌液を精製した製品で、食品添加物などとして使われる。セラックづくりを足掛かりに、現在は塗料の添加剤になる合成樹脂が主力。2020年度の売上高は58億円。従業員はグループで約2000人。

「あなたはタバコを吸いますか？」。同社ホームページ（HP）の「採用情報」をクリックすると、こんなメッセージが現れる。

「YES」と回答すると「喫煙者は採用しておりません」とのメッセージ。「NO」を選ぶと、採用試験の応募条件や入社後の待遇などが分かる仕組みだ。

尾木さんによると、HP上で明文化したのは二〇〇六年ごろ。「差別では」との批判は懸念したが、健康にこだわる社風は今に始まった話ではないので」と振り返る。

禁煙の取り組みの源流は、創業者の故・尾木信蔵さんの「健康経営」にある。旧日本軍の戦闘機「零戦」の燃料タンク表面の保護材として塗られていた輸入品の天然樹脂、セラックに注目。一九四七年に岐阜市で国産化を目指して起業した。セラックはその後、チヨコレート菓子の表面の光沢材などとして使われ、

会社は軌道に乗った。

一方、信蔵さんは幼少時から虚弱体質だったこともあり、創業直後から社員に健康維持を説き、社内で「飲め飲め牛乳、止め止めタバコ」とのスローガンを掲げた。喫煙者が大半だった創業当時は採用の条件になかったが、九一年に禁煙者に月額六千円の「禁煙手当」を支給する制度を始めた。他にも、社員が取引先の業者から牛乳やヨーグル

ルトを買えば会社が半額を補助したり、年に四回、一キログラムの鶏肉を全社員に配ったりと、一貫して健康経営にこだわり、信蔵さんの長男喬さん（七）も受け継いだ。

孫の尾木さんは「喫煙は肺がんなどのリスクがあるのはもちろん、頻繁なたばこ休憩で仕事の能率も下がる」。健康路線を継承する一方、喫煙するしないは個人の自由で尊重すべきことと考える。取引先にはたばこ関連業者もある。ただ入社してくる人とは会社の理念を共有したいという。「喫煙者に『ごめんなさい』をしても、価値観を共にする人と一緒に働けたら」と語る。